

# 風土記の丘の花だより<sup>121</sup>

## 今、そしてこれから見られる植物(2022年2月12日)

二十四節気では雨水。もう春ですね。紅梅に続いてやっと白梅も咲き始めました。資料館をくぐって正面の階段を上りきると、右側にブンゴウメが植えられています。幹が大きく2つに分かれています。階段側がそのブンゴウメですが、咲いているのは、



どうやら台木となっている白梅のようです。ブンゴウメは古く豊後(ぶんご)の国、今の大分県にあった梅とされ、ウメとアズメの交雑種ともいわれています。花はもう少し後から咲き始めます。咲いたら少しピンクを帯びたきれいな花をご観賞ください。1枚目の写真は梅園の白梅です。この白梅も、紅梅を接いだ台木だと思います。ですから一つの株に紅白の花が咲いています。梅園の道を下っていくと左側の最後の木です。



梅園ではこの木以外の白梅は全てリョクガクという品種です。2枚目の写真のように萼が緑色なので「緑萼」です。ウメ、サクラ、モモなどはどれもよく似ていて分かりづらいとおっしゃる方もおられますが、花びらが円く、花に柄が付いていなければウメの仲間だと思って間違いないと思います。



左の写真の丸いものは、ヤドリギの実です。ヤドリギは修復古墳のポプラや安藤塚のエノキなどに寄生していますが、肉眼ではよく見えないので望遠で撮りました。ヤドリギは雌雄異株なので、実がなるのは雌株だけです。この実をお目当てに野鳥が集まり、特にヒレンジャクはよく知られています。でも今年はまだ見ていません。これらの鳥が種子を拡散してくれるのです。



最後は地味にシダです。オオキジノオ(シダ)です。このシダは一昨年確認していましたが、去年はいくら探しても見つからず、絶えたのかなと思っていました。でも今年、また元気な株を見つけました。特に珍しいものではないのですが、再会が嬉しくて紹介することにしました。柳川家南の山裾にあります。松下(都合で一週間遅れましたことをお詫び申し上げます。)